



発行 | 渋谷区  
編集 | 広報コミュニケーション課  
所在地 | 〒150-8010 宇田川町1-1  
電話 | 03-3463-1211 (代表)

区SNS



City News SHIBUYA

English-language newsletter



Catalog Pocket

This paper is available to read and listen to in 10 languages.



(左から) 内山江里子さん、市原遥さん、福地里奈さん、松本優子さん

※インタビュー時は、マスクを着用、換気、身体的距離の確保を徹底し、感染対策を行いました。撮影時のみ、マスクを外して撮影しました。掲載情報は新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となる場合があります。

# 誰もが孤立せず、安心して暮らせる街にするために。

4 | 新型コロナワクチンに関するお知らせ ほか

7 | 卓球国内リーグ ノジマTリーグ  
9 | 2022-23 プレーオフ 750組無料招待 ほか

10 | 自宅の防犯対策を  
11 | 見直しましょう ほか

ちがいを ちからに 変える街。渋谷区

渋谷区は令和4年10月1日に区制施行90周年を迎えました。



# 小さなことでもためらわず、気軽に相談してほしい。

渋谷のラジオで出張インタビュー

区民の皆さんが抱える生活の悩み事や、どこに相談したらいいかわからない困り事の解決を手助けする、地域福祉コーディネーターの皆さんにお話を伺いました。



相手の気持ちに寄り添いながら、さまざまな分野をまたいで支援します。

渋谷区社会福祉協議会地域福祉課地域総合相談支援係・地域福祉コーディネーター うちやま えりこ 内山江里子さん



必ず目線を合わせて、相談者の気持ちを受け止めながらお話を伺っています。

渋谷区社会福祉協議会地域福祉課地域総合相談支援係・地域福祉コーディネーター まつもと しょうこ 松本摂子さん



地域で私たちを見かけたら、遠慮なく声を掛けてください。

渋谷区社会福祉協議会地域福祉課地域総合相談支援係・地域福祉コーディネーター ふくち りな 福地里奈さん



窓口につないだら終わりではなく、一緒に寄り添い、継続して支援します。

渋谷区社会福祉協議会地域福祉課地域総合相談支援係・地域福祉コーディネーター いちはら はるか 市原 遥さん

## 区民の身近な相談相手「地域福祉コーディネーター」

### 皆さんが社会福祉の仕事をしたきっかけを教えてください。

**内山:** 福祉の仕事を目指したきっかけは、祖母を在宅で介護していたことです。在宅介護は、家族だけではやりきれないことがたくさんありましたが、福祉の専門職の皆さんが手伝ってくれたり、当時の私にとっては大きな心の支えでした。

**松本:** 高校生の頃に老人ホームのボランティアに行った時、とても楽しく感じ、職員の皆さんもすごくいきいきと仕事をしているのを見て、自然と高校卒業後は福祉の学校に進学して、介護の仕事に就きました。

**福地:** 高校を卒業するまで地方に住んでいて、母が仕事の際は隣の家で夜ご飯を食べたり、家に一人でいる時は近所の人が声を掛けてくれたりと、地域に助けられながら育ちました。その経験から自分も地域福祉に関わりたいと思うようになり、福祉の資格を取りました。

**市原:** 小学生の頃から視覚障がい者の伴走をしており、福祉を身近に感じていました。大学4年間で福祉や相談援助の基礎を学び、私も誰かの力になりたいと思ったことがきっかけです。

### 地域福祉コーディネーターの普段の活動内容を教えてください。

**内山:** 私たち地域福祉コーディネーターは、公的な制度だけでは支えきれない、制度のはざまにこぼれてしまうような生活の課題や、どこに相談したらいいかわからないような日常の困り事をキャッチして、関係機関や地域の皆さんと連携し、解決に向けたお手伝いをしています。

**松本:** 地域福祉コーディネーターは昨年配置されたばかりなので、まずは顔と名前を覚えていただくために、地域の行事や会議などに積極的に参加しています。加えて、地域ネットワークの構築を進めており、区内のNPO団体を中心としたネットワーク交流会(通称:シブヤロコミ<sup>\*1</sup>)を、今年度は3回実施しました。

\*1 複雑化・複合化した課題の解決や、孤立している人の社会参加を支援するために、地域の多様な活動団体同士がネットワークをつくる目的で実施している交流会。

### 地域福祉コーディネーターは、民生委員・児童委員や安心見守りサポート協力員とはどのような違いがあるのでしょうか。

**内山:** 民生委員・児童委員は、高齢者、障がい者、児童、母子世帯などの要援

護者の生活実態を把握したり、相談支援をしたりします。見守りサポートは、主に高齢者や独居の人など、見守りが必要な人を対象に援助をしたり、医療や介護サービスの橋渡しをしたりします。私たち地域福祉コーディネーターは、どの分野もまたいで動ける専門職です。民生委員や見守りサポート協力員から相談を受け、解決に向けて相談者と一緒に対応を考える役割を担っています。

## 相談者の目線に立ち、寄り添いながら、解決策を模索する

### これまでどのような悩み事や相談がありましたか。

**福地:** 近隣に引きこもりがちの人がいるというご相談や、生活するお金に困っているというご相談などがありました。地域福祉コーディネーターだけでは解決できないご相談には、社会福祉協議会が実施しているほかのサービス、あるいは区の担当者や地域の支援団体と連携しながら、解決を目指しています。

**松本:** 地域の皆さんが集まる居場所や、サロンなどを立ち上げたいというご相談もありました。こどもテーブル<sup>\*2</sup>の担当者や、地域包括支援センターにも協力していただきながら、必要な手続きや準備をサポートしました。

\*2 社会福祉協議会が提供している、子どもと大人が学び合う第3の場所。こども食堂や学習支援をはじめ、さまざまな取り組みを行っている。

### 渋谷区の地域福祉では、どのような課題があるのでしょうか。

**市原:** 近年、マンションがどんどん建設されて、隣に誰が住んでいるのかわからないという状況が増えています。災害時などのいざという時、あるいは急な病気やけがをしてしまった時などに、地域とのつながりがないと救助が難しくなってしまうこともあります。

**福地:** 渋谷区は人の流動性が高いエリアなので、地域のつながりが希薄になりがちであり、孤立する人が増えていると感じます。全ての区民が安心して、安全に暮らすことができるように、地域コミュニティの再生はとても大切なポイントになると考えています。

### 地域の課題解決を支える存在として、活動の中で心掛けていることはありますか。

**内山:** 相談者のお話を伺う時は、自分の中にある感情を真っさらにするこ

とを心掛けています。自分の感情があると、どうしても相手を理解する時に邪魔になってしまうんです。相手の気持ちに寄り添い、解決に向けて努力したいと思っています。

**松本:** 相談者と必ず目線を合わせてお話を聞くことです。相談者がこちらと目を合わせられないのは構わないのですが、私は「ちゃんと聞く」という姿勢を示すようにしています。また、お話を伺いながら「この人にはこの支援が必要だな」と考えてしまいがちなのですが、これが重要だと決めつけずに、しっかり相談者の気持ちを受け止めながらお聞きするように心掛けています。

**市原:** まずはお話をよく聞くことが重要だと考えています。その上で、できないことがあったとしても、少しでも自分ができることは何かを模索するようにしています。

**福地:** 相談者を含む、地域の皆さんとの雑談を大切にしています。雑談の中で、ご相談とは関係のない話かなと思っても、後々役立つ情報もあるからです。その人がどういうことが好きか、どういうことが得意なのかといった情報は、距離を縮める一助になりますし、実際にご相談の解決に役立つケースもあります。

## 一時的な解決ではなく、継続的に見守り、支援していく

### 渋谷区では4月から重層的支援体制整備事業が始まります。地域福祉コーディネーターはどのような役割を担うのでしょうか。

**市原:** 年齢、性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、福祉に関する総合的なご相談を受けます。相談者が抱えている問題が複雑でも、一緒に整理をして、適切な支援につなげます。それから、本人や家族に寄り添い、伴走支援を行うことで、一人も取りこぼさない地域共生社会の実現を目指していきます。伴走支援とは、「どこかの窓口につないだから終わり」ではなく、継続して見守ることです。数か月後、数年後のスパンで相談者の状況を確認しながら、さまざまな団体と連携して支援していきます。詳しくは右記の情報欄をご覧ください。

**内山:** 4月から区役所本庁舎2階に「福祉なんでも相談窓口」を開設します。地域巡回型の窓口も開きます。さらに今年の秋以降は、区内に相談窓口の分室も新たに開く予定ですので、困り事やどこに相談したらいいかわからないお悩みがありましたらぜひ、ご活用ください。

### 区民の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

**福地:** 私たちは担当地区の業務のほか、地域のイベントや、居場所・サロン、こどもテーブルなどにも参加しています。もし私たちを見かけましたら、遠慮なく声を掛けてくださると嬉しいです。

**市原:** 支援が必要な人の中には、自分で声を上げられない人もいらっしゃいます。近くに心配な人がいたら、まずは私たちにご連絡ください。出張相談にも伺います。

**内山:** 多様な事業を行なっている社会福祉協議会の職員という強みを生かして、活動していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

**松本:** 「私の悩み事なんて、些細なことなのではないか」と考えてしまうかもしれませんが、どんなことでもいいので、お困り事があれば、気軽に相談してください。

**4月から重層的支援体制整備事業を開始します。ぜひ「福祉なんでも相談窓口」にご相談ください**

「重層的支援体制整備事業」とは、子ども・障がい・高齢・生活困窮などの分野別の支援体制では対応しきれない複雑化・複合化した課題に対して、分野を横断し一体的となって取り組むための包括的な支援体制を整備する事業です。事業の取り組みの一つとして、どこに相談してよいか分からない人のために、本庁舎2階と文化総合センター大和田内に「福祉なんでも相談窓口」を設置します(※本庁舎2階は4月1日から、文化総合センター内は秋ごろ設置予定)。地域福祉の専門職である地域福祉コーディネーターが各支援機関と連携し、本人や地域の皆さんと一緒に課題解決に向けて考えていきます。

【重層的支援体制整備事業について】 福祉部管理課 重層的支援体制整備推進主査 ☎ 03-3463-1691 📠 03-5458-4936

【福祉なんでも相談窓口について】 渋谷区社会福祉協議会地域福祉課 地域総合相談支援係 ☎ 03-6452-5072

内山さん、松本さん、福地さん、市原さんへのインタビューは3月7・14日に「渋谷の星」で放送します。

バックナンバーはこちら

図広報コミュニケーション課広報係 ☎03-3463-1287 📠03-5458-4920

渋谷区の番組を放送中です <b>ラジオしゅや区ニュース</b> 月～木 11:00/16:00/21:50 (10分間) 「しゅや区ニュース」の情報を発信します。	<b>渋谷いきいき倶楽部</b> 月～金 13:00/16:30 (30分間) シニアの皆さんを応援する番組です。	<b>渋谷の星</b> 火 11:15 (45分間) 渋谷区で活躍する人たちが登場します。	<b>渋谷のくらし</b> 金 16:00 (30分間) 地域の催しなどの様子を伝えます。	<b>ラジオしゅや区ニュース(区長の部屋)</b> 金 11:00/17:00/19:50 (10分間) 長谷部区長が出演します。 (ラジオしゅや区ニュースの内容になる場合があります)
--	---	---	---	---

ラジオしゅや区 × 渋谷とは?

「しゅや区ニュース」では毎号、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しゅや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面を届けています。

**渋谷**

周波数: 87.6MHz FM  
☆公式アプリ(iOS・Android)でも聴取可能

所在地 | 渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 03-6712-6876  
FAX | 03-5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | shiburadi.com/